

事業所名 グループホーム六じょうや

運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 令和2年2月27日（木）14時00分～15時00分	
参加者（今回は新型コロナウイルスのため集まらず、資料を配布した人数）	議 題
利用者 0 名	1 六じょうや基本理念・目指す場所
利用者家族 9 名	2 入居者情報
地域住民の代表者 2 名	3 利用者の医療看護の状況
市職員 1 名	4 行事報告 実績写真添付
地域包括支援センター職員 1 名	5 事故報告
見識者 0 名	6 身体拘束廃止委員会
事業所 1 名	7 今後の事業計画
会 議 録	
<p>今回は新型コロナウイルスの感染拡大の危険があるため、室内で集まらずに資料をお渡しして回答を待つ形で行いました。</p> <p>2 入居者要介護度の状況、平均年齢、平均介護度、年齢別介護度、面会者数などについて前回との変化を報告しました。</p> <p>3 入居者の医療看護の状況（R1. 12. 24～R2. 2. 26の期間）を報告しました。 〔利用者の転帰状況〕 〔入居者の看護、介護の状況〕 〔利用者の健康教室開催状況〕講師矢萩看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月一冬の健康管理、インフルエンザの予防法 ・2月一新型コロナウイルス肺炎について 感染の実態と予防法 入居者参加と職員参加で一緒に勉強しています。（毎回25人程参加） <p>4 主な行事報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月1日 新年祝賀式 ・1月2～3日 お正月遊び ・2月3日 節分 <p>各行事の楽しさを説明し、写真を添付してご家族にも知って頂きました。 2階の有料老人ホームの方々と合同で行うイベントも多々あります。</p> <p>5 事故報告</p> <p>認知症増悪の為、外に出られ転倒流血された方の事例を報告しました。</p>	

6 身体拘束廃止委員会—①「もし自分がされる側だったらどう感じるか」

- ②「将来認知症になった時に、身体拘束について意思を伝えておいてはどうか」という議題で意見を求めましたが、ご家族からのご意見はなく、瀬戸市役所の方からのご意見がありました。

(瀬戸市職員)

- ① 問題行動は回避できるかもしれないが、拘束によって受ける精神的ダメージが大きいと思う。
- ② 事前に意思表示があったとしても、行動の自由を奪ったり、人の尊厳を傷つけるような身体拘束にあたる行為を行えば身体拘束していることには変わりはない。

(職員)

- ① 望まない拘束を自分がされたら、窮屈で気分が悪く、とても楽しく、穏やかに生活できそうもない。
- ② 例えば、いつも便だらけになって、服や布団や手や顔に便がくっついていて、自分としては望まない自分になってしまうような行動をするようなら、限定的に、つなぎ服をきせてもらう方が、逆に自分の尊厳が守れるかもしれない。四六時中、使いじりをする人というイメージの自分像でありたくないで、綺麗にオムツ交換して清潔を保てる方が、大きい意味での尊厳を守れるような気もする。

ただ、危ないからと言って、車いすに結ばれているような拘束は絶対にされたくないと思う。自由に動く権利が奪われるのは嫌だから。

7 今後の事業計画

- ・新型コロナウイルスの対応について
- ・居室の整理整頓について
- ・職員の定着について
- ・今後の主な行事について
 - 3月3日 ひな祭り
 - 3月11日 音楽ボランティア 中止
 - 3月20日 牡丹餅作りで春分を祝う 誕生会サプライズ
 - 3月25日 健康教室
- ・入居者状況
- ・先日ひらいた家族会について
- ・次回運営推進会議 2020年4月23日